教材名「水の東西」

課題１

　「鹿おどし」と「噴水」はそれぞれ本文中でどのように説明されているか、対比表現に注意しながら、百字以内でまとめよ。

解答例

　「鹿おどし」は水の流れをせき止め、刻むことで時間を感じさせ、見えない状態をも味わいとする日本的なものであるが、一方「噴水」は水を噴き上げることで空間を感じさせ、見える状態を楽しむ西洋的なものである。

（九十九字）

◆評価のポイント［Ａ・Ｂ・Ｃ］

①課題文の理解度

Ｂ規準 以下の要素が含まれている。

† 「鹿おどし」…「流れる水」「時間的な水」「見えない水」、「噴水」…「噴き上げる水」「空間的な水」「目に見える水」。

† 「日本的」←→「西洋的」

【Ａの目安】多くの要素を不足なくまとめられている。

【Ｃへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、本文中の対比表現を中心に本文を整理させる。

②構成の的確さ

Ｂ規準 以下の要素が含まれている。

† 本文中で対比されていることをふまえて、解答に対比表現が用いられている。

【Ａの目安】対比表現が無理なく用いられている。

【Ｃへの手立て】要素がない場合には、対比を表す逆説の接続語や「一方」など対比に用いられることの多い語についてあげてみる。

③語句や表現の的確さ

Ｂ規準 以下の要素が含まれている。

† 課題の条件にふさわしい表現が用いられている。

† 指定された文字数に合わせて解答が述べられている。

【Ａの目安】語句や表現、本文全体において、優れた要素が含まれている。

【Ｃへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、本文中の対比表現を中心に本文を整理させる。

●総合評価［Ａ・Ｂ・Ｃ］

　各項目のＡを３点・Ｂを２点・Ｃを１点と換算し、９点満点となるので、

　８～９点　＝総合評価［Ａ］

　７～５点　＝総合評価［Ｂ］

　３～４点　＝総合評価［Ｃ］

とすることが考えられる。

　その場合、解答例は①～③の評価のポイントに対して、

　①＝Ａ（付帯条件をクリアしている。）

　②＝Ａ（付帯条件をクリアしている。）

　③＝Ｂ

となり、計８点で総合評価は［Ａ］となる。

●指導上の留意点

・本文中の対比表現をおさえさせる。表にしてまとめてみるのもよい。

・字数の制限が厳しいので、どの要素を入れるか、検討させる。

課題２

　「課題１」の内容と形式を参考に、東洋・西洋に限らず二つの地域で興味や関心のあり方の異なる例をあげ、対比しながら二百字以内でまとめよ。

解答例

　日本国内でも、関東と関西とで料理の調味は異なる。たとえばうどん、関東でも関西でもよく食べられているが、関東のものはだしが濃く、関西のものは薄いなどの違いがいわれる。それは関東では濃口醬油、関西では薄口醤油を用いるということ以外にも、前者で主にはカツオだし、後者では昆布だしを利用することが多かったことがあげられるが、関西では特にだしの味に対するデリカシーが強いことなども言及されるところである。　（百九十七字）

◆評価のポイント［Ａ・Ｂ・Ｃ］

①課題文の理解度

Ｂ規準 以下の要素が含まれている。

† 対比されている両者の違いがあげられている。

† 外面的なものばかりでなく、内面的な嗜好などについてもふれられている。

【Ａの目安】両者の違いが明確である。

【Ｃへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、対比表現を表などに整理させ、参考にさせる。

②構成の的確さ

Ｂ規準 以下の要素が含まれている。

† 対比構造が明確である。

† あげた例について説明が付されている。

【Ａの目安】対比構造にそって両者をきちんと表現できている。

【Ｃへの手立て】どちらかの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、問題文で求められていることについて改めて考えさせる。

③語句や表現の的確さ

Ｂ規準 以下の要素が含まれている。

† 言葉や表現、文字の使い方が適切である。

† 指定された文字数に合わせて解答がまとめられている。

【Ａの目安】語句や表現、本文全体において、独創性や優れた要素などが含まれている。指定の文字数に収まるよう、巧みな構成や展開がなされている。

【Ｃへの手立て】どちらか一つの要素しかない、またはどちらの要素もない場合は、口語表現や稚拙な表現が使われていないか確かめさせる。文字数が不足している場合は、課題の内容を整理させる。

●総合評価［Ａ・Ｂ・Ｃ］

　各項目のＡを３点・Ｂを２点・Ｃを１点と換算し、９点満点となるので、

　８～９点　＝総合評価［Ａ］

　７～５点　＝総合評価［Ｂ］

　３～４点　＝総合評価［Ｃ］

とすることが考えられる。

　その場合、解答例は①～③の評価のポイントに対して、

①＝Ａ（イメージのしやすい事例があげられ、分析がなされている。）

　②＝Ｂ

　③＝Ｂ

となり、計７点で総合評価は［Ｂ］となる。

●指導上の留意点

・具体例については、図書館で調べさせる、インターネット等で検索させる、などの調べ学習としてすすめるとよい。そのうえで、それぞれの国や地域によって認識や考え方が異なることをおさえさせたい。

・箇条書きでなく、文章としてまとめさせる。内容と内容とのつながりを意識させる。